

荷主代表（イズミ）

2026年2月16日

(株) イズミ 物流事業部

杉田 尚

■ 本日のアジェンダ

- | | |
|----|-----------------|
| 1. | 中四国物流研究会について、概要 |
| 2. | 中四国物流研究会取組み |
| 3. | (株)イズミの概要 |
| 4. | 荷主（イズミ）としての取組み |

1) 中四国物流研究会について

「中四国物流研究会」発足発表会

日時 2024年4月25日 (木)

会場 エディオン広島ピースウィングスタジアム



【登壇者】

(株)フジ 山口社長
(株)イズミ 三家本副社長
(株)ハローズ 佐藤副社長

※当日は報道機関、業界紙等22社が参加

発足当初

小売 12 社 ⇒ 15 社、 物流 2 社 ⇒ 3 社 へ
参画企業が拡大

物流研究会の広がり

- 持続可能な物流体制の構築
- 物流を『協調領域』と位置づけ

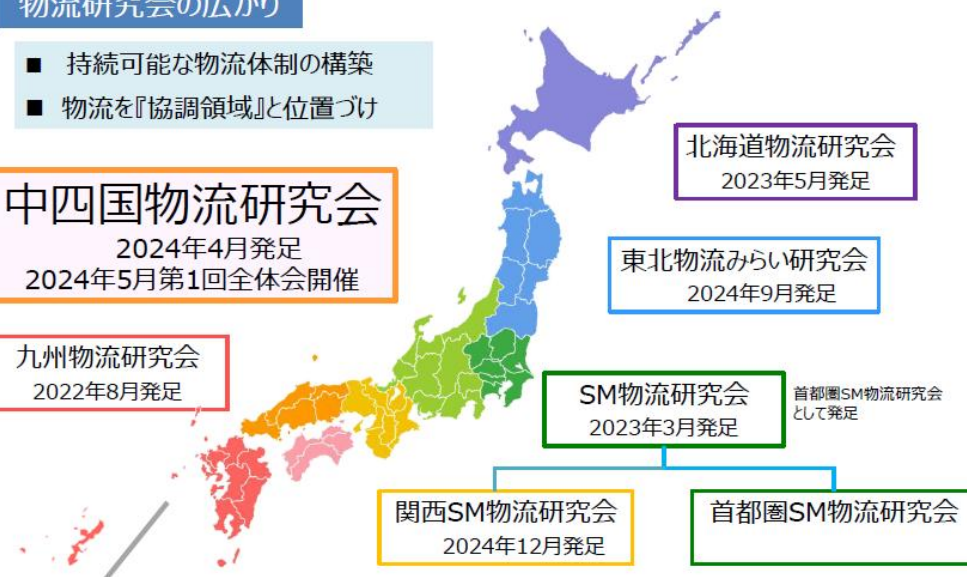
中四国物流研究会

2024年4月発足
2024年5月第1回全体会開催

九州物流研究会
2022年8月発足

発足の目的

1. 「物流の2024年問題」に対して、個社での課題解決が困難な案件に対して、連携して解決を図る。
2. 各企業の店舗配送車両で、有効活用できる部分を模索し、配送効率を高める。
3. 物流センターまでの一次物流において、製配販で連携し、ムリ・ムラ・ムダの解決を図り、持続可能な納品物流体制を構築する。
4. 今後施行予定の法規制に対して、荷主企業として連携して対応する。
5. 物流の課題解決を通し、温室効果ガスの削減等の環境負荷軽減を図る。
6. 若い意欲のある人材が働きたいと思える小売業・運送業へと変革していく。



1) 中四国物流研究会の活動概要

中四国物流研究会 参加企業・行政

2025年10月時点

【スーパーマーケット】 50音順

イオンリテール(株)、(株)イズミ、
(株)エースワン、非公表、(株)キョーエイ、
(株)サニーマート、(株)天満屋ストア
(株)仁科百貨店、(株)ハローズ、
(株)フジ、(株)マルイ、(株)みしまや
両備ホールディングス(株)

小売業
15社

【ホームセンター】
DCM(株)
【専門店】
(株)大創産業

50音順

イオングローバルSCM(株)
シモハナ物流(株)
(株)ムロオ

物流業
3社

行政
3団体

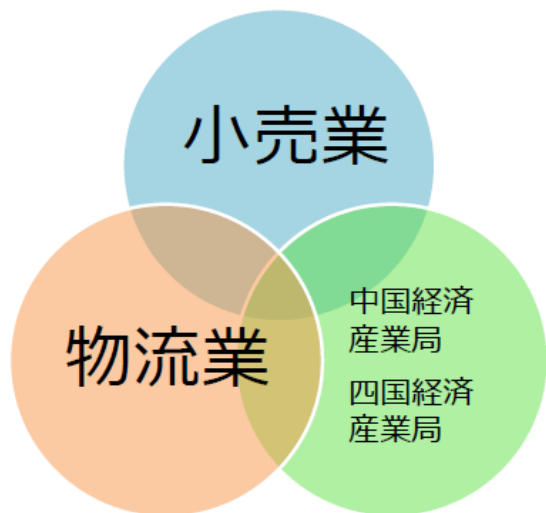
【オブザーバー】
中国経済産業局
四国経済産業局
中国四国農政局

1) 中四国物流研究会の活動概要

中四国物流研究会の歩み

	発足	2024年度	~2025年9月
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none">● 2024年4月25日『中四国物流研究会』発足発表会を実施 報道機関、業界紙等22社が参加	<ul style="list-style-type: none">● 全体会議 年4回開催 5/16,8/22,11/21,2/20● 中国エリア部会 (9回開催)● 四国エリア部会 (9回開催) 第4回全体会議後、『協業の具体的事例』をプレスリリース	<ul style="list-style-type: none">● 全体会議 年3回開催予定 6/19,10/15,2/19● 中国エリア部会 (6回開催)● 四国エリア部会 (6回開催)● 4/17中四国合同エリア部会
参加社	小売12社、物流業2社	8月~ DCM(株)、(株)大創産業 参加 10月~ (株)みしまや、シモハナ物流参加	小売15社、物流業3社
主な取組内容		<ul style="list-style-type: none">● 相互理解・情報共有 物流センター視察、繁忙期対応、熱中症対策、 物流効率化への好事例の発表● 配送協業に向けた協議と実行	<ul style="list-style-type: none">● 相互理解・情報共有 繁忙期対応、悪天候時対応 熱中症対応、 物流効率化への好事例の発表● 配送協業に向けた協議と実行
他物流研究会・改正物効法情報共有		<ul style="list-style-type: none">● 九州物流研究会 (5月)● 北海道物流研究会(8月)● チルド物流研究会 (11月)● 経済産業局 (毎月)	<ul style="list-style-type: none">● チルド物流研究会 (4月)● 経済産業局 (毎月) フードソリューションズフェア2025での『中四国物流研究会』活動内容を講演

1) 中四国物流研究会の活動概要



配送協業 初期仮説立案～実行が進む

- 小売 (SM) と小売 (SM) での協業
- 小売 (SM) と小売 (ホームセンター) での協業

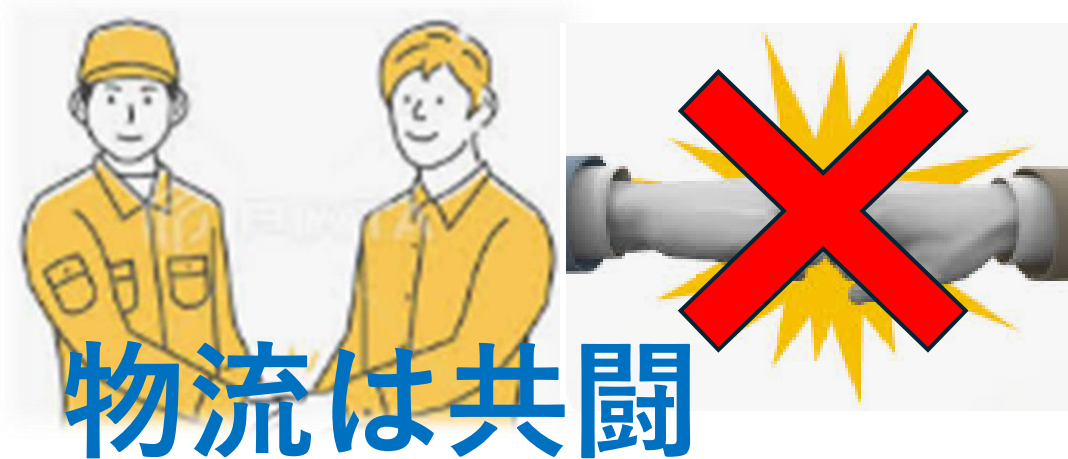
それぞれの協業において物流業の協力をいただく

情報共有

- 物流効率化に向けた個社事例の共有 (発注リードタイム、センター休日、システム活用)
- 繁忙期対応、悪天候時対応、熱中症対策 等
- 繁忙期のマテハン (標準クレート) の貸し借り
- 標準クレートの利用状況、課題共有

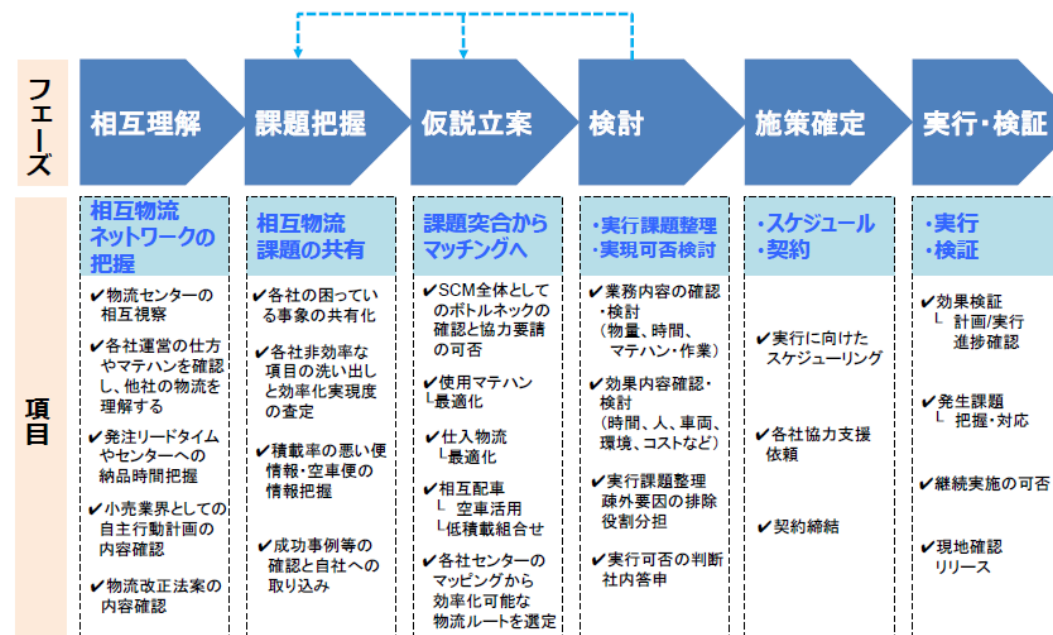
改正物流効率化法への対応

- 中国産業局、四国経済産業局、(経済産業省) より、エリア部会・全体会時に最新情報を共有
- エリア部会時に質疑を実施し、理解を高める



取組事項の一例

- ① 店舗配送において、センター近隣店舗配送の相互配車による実車率の向上と走行距離の短縮
- ② 納品物流において、各社物流センターへの納品時間帯の統一による、納品車両台数の削減
- ③ 中国エリア・四国エリア間の幹線物流における相互輸送の実施による実車率の向上と運行便数の削減
- ④ マテハン (特にクレート) 統一による、庫内作業の単純化と回収物流時の店舗滞留時間の短縮
- ⑤ ASN (事前出荷情報) の活用による入荷検品時間の短縮



1) 中四国物流研究会の活動概要

進捗と課題

【今期の進捗】

配送協業 初期仮説立案～実行が進む

- 小売 (SM) と小売 (SM) での協業
 - 小売 (SM) と小売 (ホームセンター) での協業
- それぞれの協業において物流業の協力をいただく

情報共有

- 物流効率化に向けた個社事例の共有
(発注リードタイム、センター休日、システム活用)
- 繁忙期対応、悪天候時対応、熱中症対策 等
- 繁忙期のマテハン (標準クレート) の貸し借り
- 標準クレートの利用状況、課題共有

改正物流効率化法への対応

- 中国産業局、四国経済産業局、(経済産業省) より、エリア部会・全体会時に最新情報を共有
- エリア部会時に質疑を実施し、理解を高める

【今期の現状の積み残し課題】

配送協業

- 納品物流におけるメーカー・卸を含めた配送協業

中四国エリアでの連携強化

- BCP対応。中四国エリア企業間の相互応援体制について検討
- 中四国エリアでの物流標準化指標について検討

自主行動計画への対応

- 異常気象時等の中止・中断等における基準の検討

他団体との連携

- 納品物流におけるパレット納品の推進

など

積み残し課題などに対し、分科会を立ち上げ、取り組みを進めます

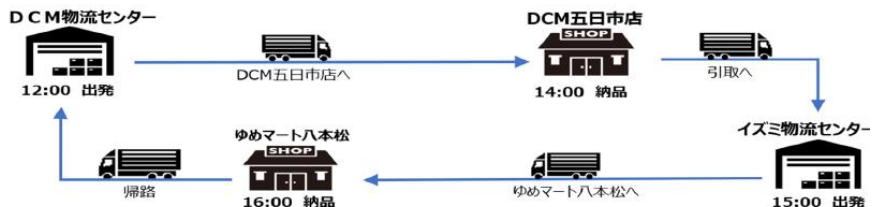
2) 中四国物流研究会取組み

協業取組事例2 (センター戻り便利用)



DCM物流センター便にて・・・
 ①14時：DCM五日市店へセンター便納品 ②15時：イズミ物流センターへ到着後、ゆめmart八本松のあふれ荷物を積み出発
 ③16時：ゆめmart八本松へ納品 ④17時：DCM物流センターへ帰着

【マッチング・配送協業ルート】DCM物流センター便にてイズミ物流センター 常温定期便からあふれた商品を集荷し、ゆめmart八本松へ納品する。
 ※イズミ物流センターとしては、イレギュラー便扱いとなるため、店着時間に縛りなく、支障なし。



【走行距離・効果】
 Before : $41\text{km} \times 2 + 47\text{km} \times 2 = 176\text{km}$
 After : $41\text{km} + 8\text{km} + 47\text{km} + 7\text{km} = 103\text{km}$ ▲73km
 ■年間約3,900km (広島駅からUSニューヨーク市) 削減効果

2) 中四国物流研究会取組み

協業取組事例 3 (同一施設への配送)



【配送協業実施後】 2025年9月10日(水)テスト配送 9月16日(火)より毎週火曜・土曜で実施(他は要相談で実施)



精算... 実物流業務委託先同士で 天満屋ストア...中四国丸和ロジスティクス イズミ...シモハナ物流



【配送協業実施前】 各々の便で配送



・効果...天満屋ストアで物量の山であった、火曜・土曜店着分のハジケ配送が1便減便。定期配送することで、ポートプラザ店 配送車両に若干の余裕ができ、他店のハジケ対応をその余積で実施できた。

・課題...シモハナ物流の天満屋ストア生鮮センター 帰り便の更なる余積活用ができないか検討。

2) 中四国物流研究会取組み

協業取組事例 4 (マテハン回収)

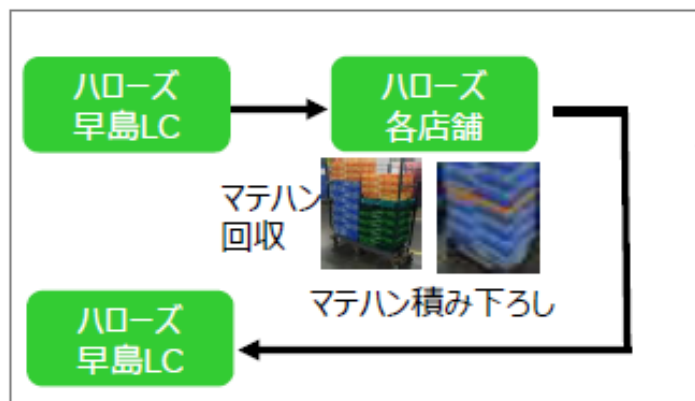
取組み
内容

ハローズは、イズミ、シモハナ物流と協業し、イズミの納品車両の戻り便やシモハナ物流の車両の空きスペース活用することで、マテハン回収に関わる走行距離を削減。

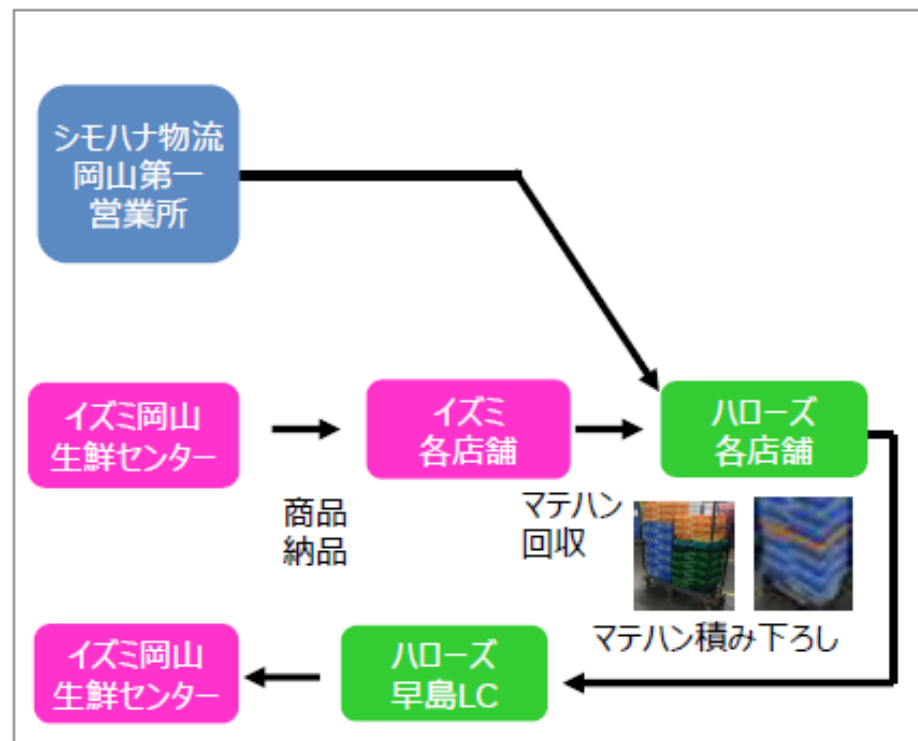
【マテハン回収 配送協業 対象店舗、センター】



【配送協業 実施前】



【配送協業 実施後】2024年12月～



※シモハナ物流岡山第一営業所はイズミ岡山生鮮センターの業務委託先です。

※2024年12月～開始した本協業は2025年2月21日現在で5店舗に拡大しています。

2) 中四国物流研究会取組み

協業取組事例 5 (クレート共同利用)

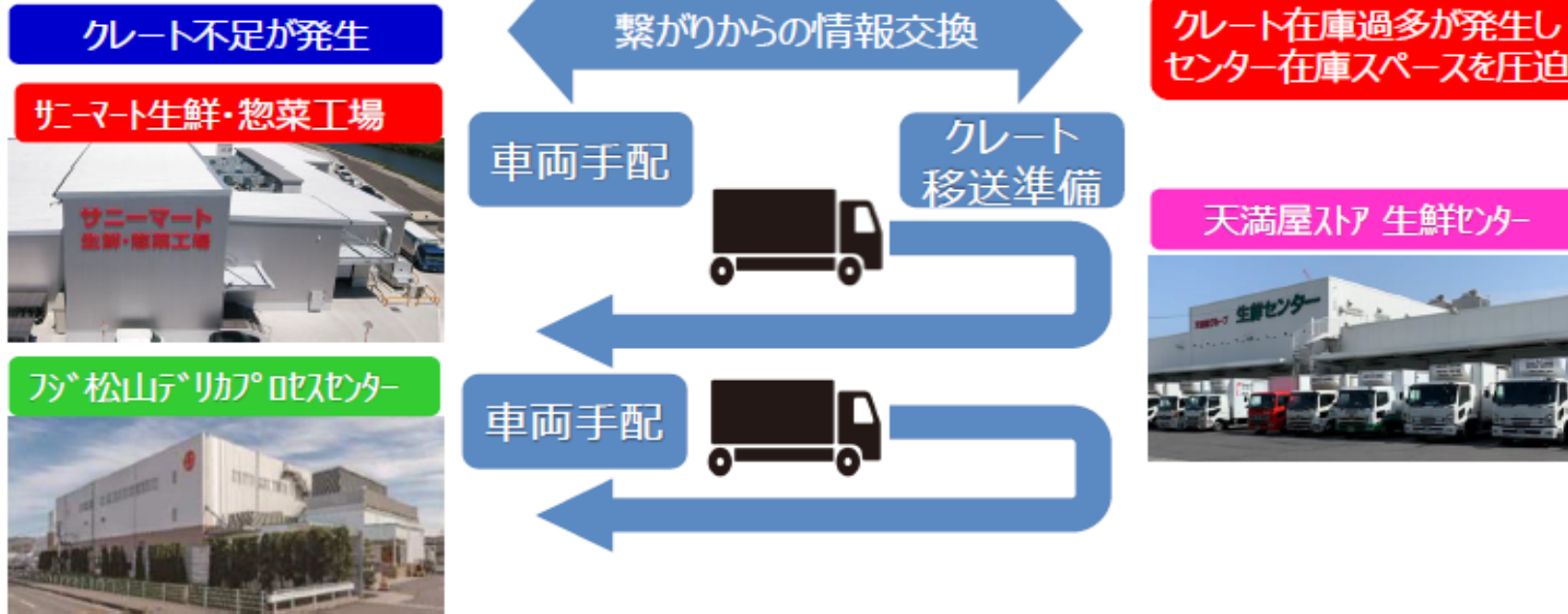
(天満屋ストア×サニーマート×フジ)

取組み
内容

天満屋ストア、サニーマート、フジは中四国物流研究会での繋がりを生かし、繁忙期(2024年12月)に標準クレート・深型(クレート)の在庫量の情報交換を行い、在庫過多企業から在庫不足企業へ移送。



標準クレート・深型

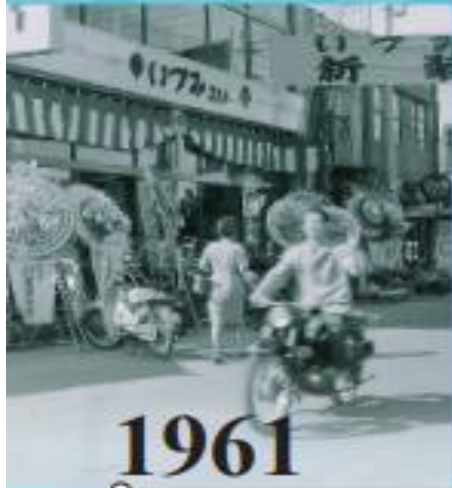


取組み
効果

中四国物流研究会発足により、日ごろからの情報共有やコミュニケーションが活発となる。繁忙期に発生したクレートの在庫量の偏りに対しても、早急に対応することができ、クレート不足やクレート在庫過多による在庫スペースの圧迫を解消した。

3) イズミの概要

イズミグループについて | 概要の歴史



1961

株式会社いづみ設立 第1号店オープン

創業家の山内豊彦は、1950年に次男和雄が「株式会社山内商店」を設立した後、将軍を襲撃して小治政という未知の分野への挑戦を供養、「株式会社いづみ」を設立し、中野区前町の総合スーパーマーケット「いづみ1号店」をオープンしました。1号店は地場のニーズに合わせて5回もの増改築を繰り返した歴史があり、これが店舗活性化によって「地域一番店」を創出す存在の基盤につながっています。

百貨店との対決を覚悟して「都心部から郊外型へ」という方向性を掲げ、全国的にまだ始まったばかりの郊外型大規模店舗「いづみ郊外型ショッピングセンター」(現・ゆめタウン大宮)をオープン。新たな店舗スタイルの創造に挑戦しました。



郊外型ショッピングセンター「紙園店」をオープン

1973

行政や市民からの協力のもと、地域活性化に貢献するショッピングセンターとして「ゆめタウン大宮」(紙園店)をオープン。「ゆめタウン」の名称には、「you me(あなたと私)」の響を考えてくれるショッピングセンター」という思いを込めています。モノを売るだけの店舗ではなく、地域とともに人々が集う場をつくる一翼となるべく、創業家への貢献が始まりました。

ゆめタウン、始動

1990



1995

新天地、九州へ進出

ドミナント戦略を展開する新たな地域を標的とするべく、人口密度や社会福祉、産業費などのデータと比較し、当初候補に挙がっていた岡山・兵庫県よりも将来的に見込める九州への出陣に意を決しました。九州初の店舗「ゆめタウン高岡」(高岡店)を皮切りに、大分県、佐賀県、森崎県へと進出。当初は苦戦したものの、地域密着の店づくりを実践することにより、九州における「ゆめタウン」の基盤を築いていきました。



業績向上に努めていた熊本県のスーパーマーケットチェーン「株式会社ニコニコ堂」と事業提携を締結。大宮店は「ゆめタウン」に改称しオープン。小型店は「株式会社ゆめタウン大宮」を設立して再編に乗り出しました。当初は企業文化の違いもありましたが、社員や社人先の声に丁寧に耳を傾けることで信頼関係を醸成、地域に根づいていきました。



初のM&A、(株)ニコニコ堂の事業を継承

2002



2024

(株)西友の九州事業 サニー事業を承継

30年以上にわたり地元のお客さまから高い支持を得ている株式会社西友の九州事業(以下、「サニー事業」)を承継。九州最大級のマーケットである福岡市を中心に店舗数は大幅に増加しました。スケールメリットを活かしたシナジー効果を実現させていくとともに、サニー事業が持つローコスト運営のノウハウをグループ内へ浸透させ、より

2025年9月発売予定(あくわいープライス)

PB「ゆめイチ」

ブランドコンセプト
イチバンも。イチオシも。

価格も、品質も、あなたにイチ押しに寄り添いたい。良食に、更に、イオンの商品を追加したい。最後はPBだから、最高のPBを提案します。

- プレミアム**
よりおいしいにこだわった濃厚の一品
- レギュラー**
品質にこだわって、お手頃な価格で販売
- プライス**
よりお求めやすい価格での提供にこだわり

3つのラインナップ、まずは、ゆめイチ「プライス」から。

3) イズミの概要



イズミグループについて | 数字で見るイズミグループ

西日本エリアでの店舗網拡大を通じてドミナンスを構築

営業収益
5,241 億円

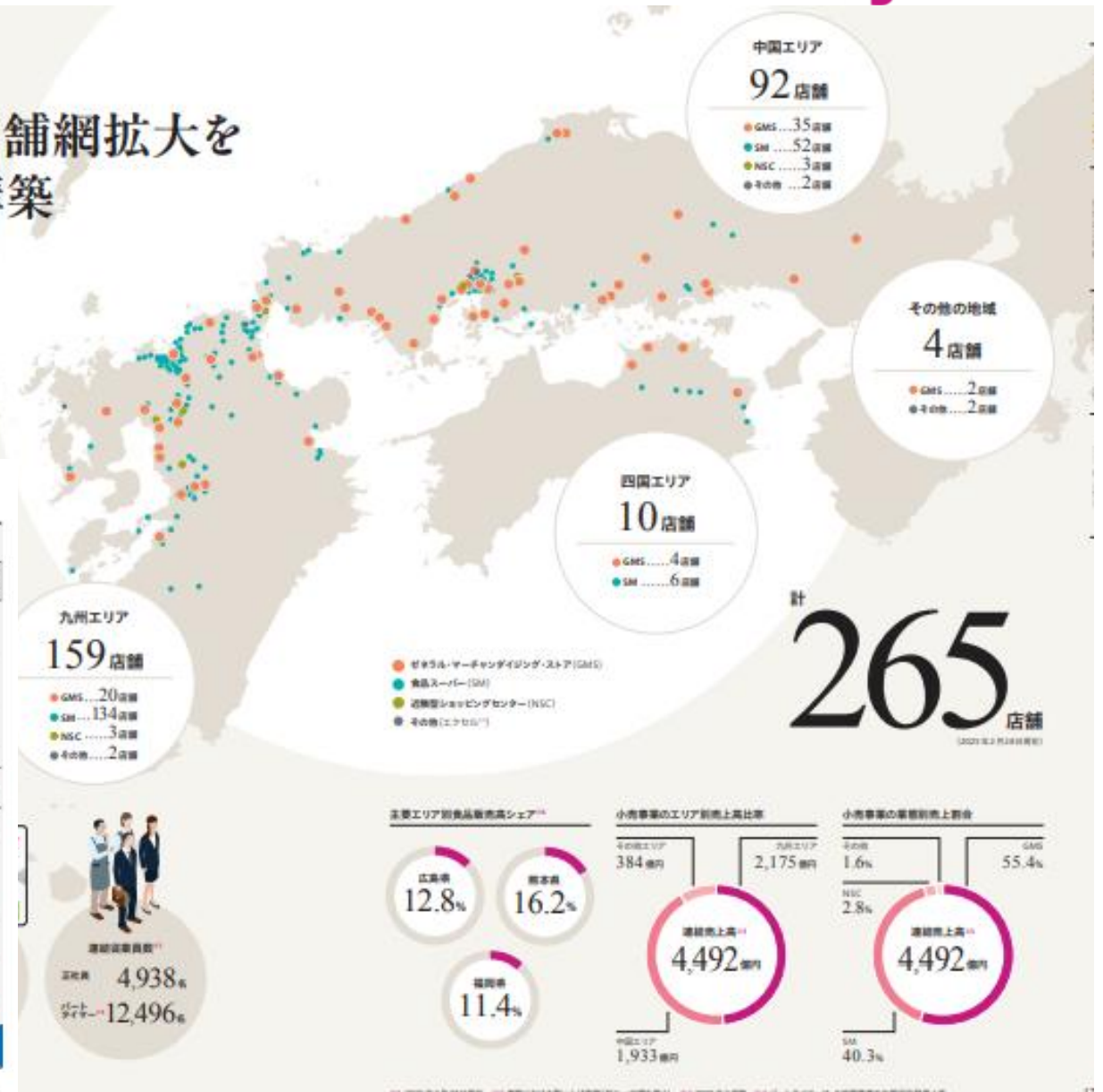
営業利益 / 営業利益率 親会社に帰属する当期純利益 / 純利益率
254 億円 / **4.9%** **119** 億円 / **2.3%**

中四国・九州を中心に店舗展開 **267** 店舗

(2025年8月31日時点)

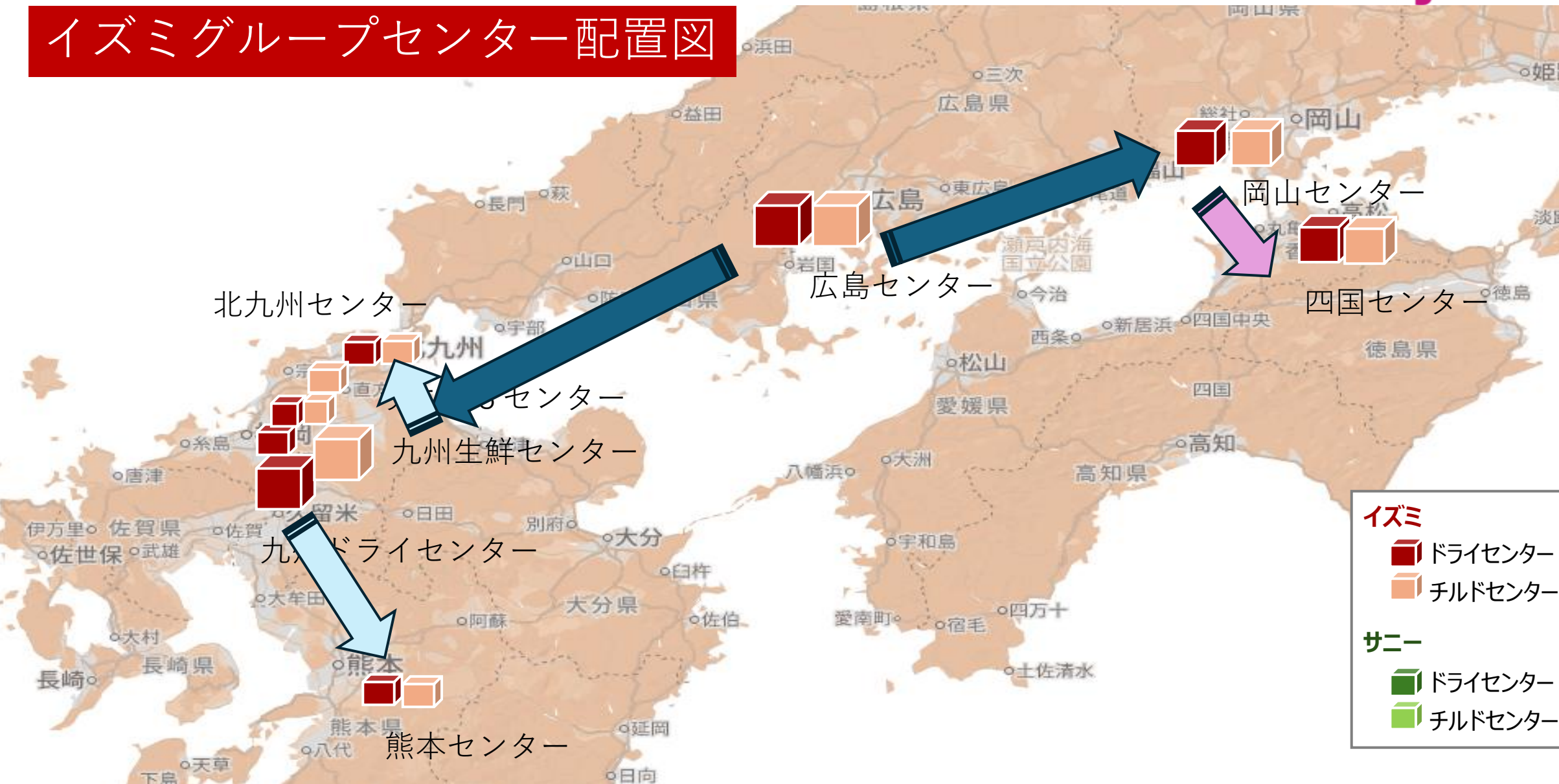
主な会社名ほか	本社所在地	主な業態	地域ごとの店舗数 (店)				合計
			九州	中国	四国	その他	
イズミ	広島市	SC (ゆめタウン・LECT) ※1	20	35	4	2	61
		NSC (ゆめモール)	3	4	-	-	7
		SM (ゆめマート)	14	19	-	-	33
		その他	2	4	-	1	7
		小計	39	62	4	3	108
ユアーズ	広島市	SM (ユアーズ等)	-	26	-	-	26
ゆめマート熊本	熊本市	SM (ゆめマート) ※2	23	-	-	-	23
		SM等 (サニー事業)	70	-	-	-	70
ゆめマート北九州	北九州市	SM (ゆめマート)	23	7	-	-	30
その他	-	SM	4	-	6	-	10
合計			159	95	10	3	267

*上記のうち、「ゆめマート」(ストアブランド) 63 31 - - 94



3) イズミの概要

イズミグループセンター配置図



4) イズミの取組み

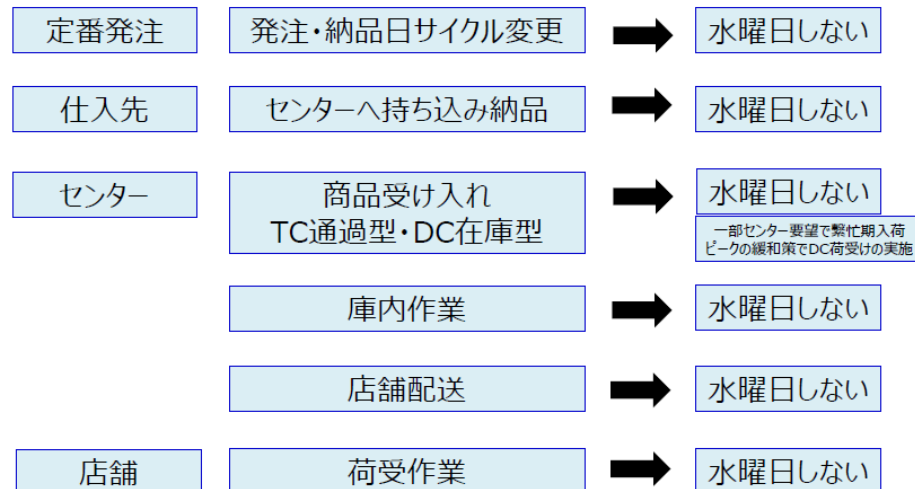
① 店舗配送便の5日/週化 (ドライ)

- 配送コストの高騰
- センター庫内作業人件費の上昇

- 24年問題でドライバーさんの人手不足と残業時間削減の一環として取込みを考えている。



現状の日曜休配日に追加し水曜日も休配日にする
取込みました (週2日の休配日)



49店の1日の平均のカゴ車・カートの配送台数 23年9月実績

実施前

	月	火	水	木	金	土	計
配送カゴ台数	2,077	2,405	1,289	2,044	2,457	3,098	13,370
構成比	16%	18%	10%	15%	18%	23%	100%



実施後

24年9月実績

	月	火	水	木	金	土	計
配送カゴ台数	2,263	2,729	—	2,857	2,628	2,839	13,317
構成比	17%	20%	—	21%	20%	21%	100%
前年同月比	109%	113%	—	140%	107%	92%	100%

- 配送物量の週の合計台数の実施前と実施後で大きな変化なし
- 曜日別の台数のバラツキが想定より平準化された (用度品は水・土納品から月・木納品に変更)

4) イズミの取組み

②発注リードタイムの延長（ドライ）

なぜ、発注LT延長が必要か

- 1.物流2024年問題を発端としたコスト上昇への対応
 - センター店配、メ-カ/卸入荷物流
- 2.最低賃金年々アップに伴う生産性拡大
 - センター庫内MH
- 3.発注精度の向上（需要予測型、AI）
 - DXによる予測が進む事で精度の差が縮小
- 4.商品欠品の防止

発注LT変更の課題、メリット

(メリット)

- 1.店舗納品時間の前倒し
- 2.センター庫内作業効率化
- 3.荷待ち時間の削減
- 4.積載率の向上
- 5.仕入先様の欠品削減

(課題)

- 1.一時的な品切れ増加危惧
 - 2.イレギュラー販売対応
- * 緊急出荷可

④加工食品/菓子変更スケジュール案

現在

	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
店舗発注	●		●	●	●		●	●		●	●	●		●
センター/仕入先受注	●	●		●	●	●		●	●		●	●	●	
店舗納品	★	★		★	★	★		★	★		★	★	★	

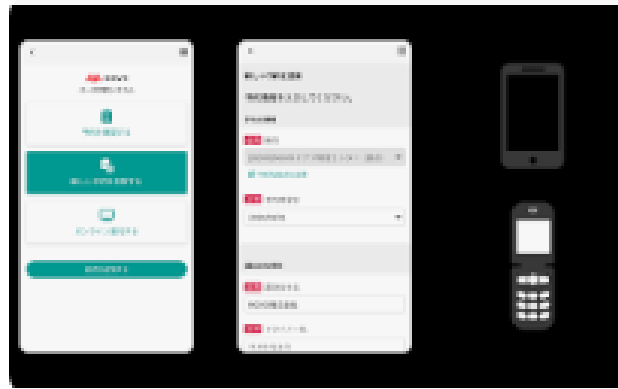


変更後

	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
店舗発注	●		●	●	●		●	●		●	●	●		●
センター/仕入先受注	●	●		●	●	●		●	●		●	●	●	
店舗納品	★	★		★	★	★		★	★		★	★	★	

4) イズミの取組み

③ 荷待ち荷役のカイゼン



入荷管理システム (HACOBU)



ドライバー動作

1. カメラアプリからQRコードを読み込んでURLをタップ
2. 情報を入力する *スマートフォンのみ利用可能です。

店舗操作

1. QRコードを設置

* オンライン受付機能を使うため、設定内容を再度確認ください。

ポイント

- QR設置スタンド 設置準備中
- 受付用タブレット 不変で 始められます

QRコード読み込み → 情報入力・入場登録 → 退場登録

QRコード読み込み → 記載番号に電話 SMS内URL → オンライン受付する → 予約なしを選択 → 入場登録・退場登録

選択可能なデバイス

多様な利用シーンに合わせて、デバイスを選択・組み合わせることで、貴社に最適な運用を実現できる



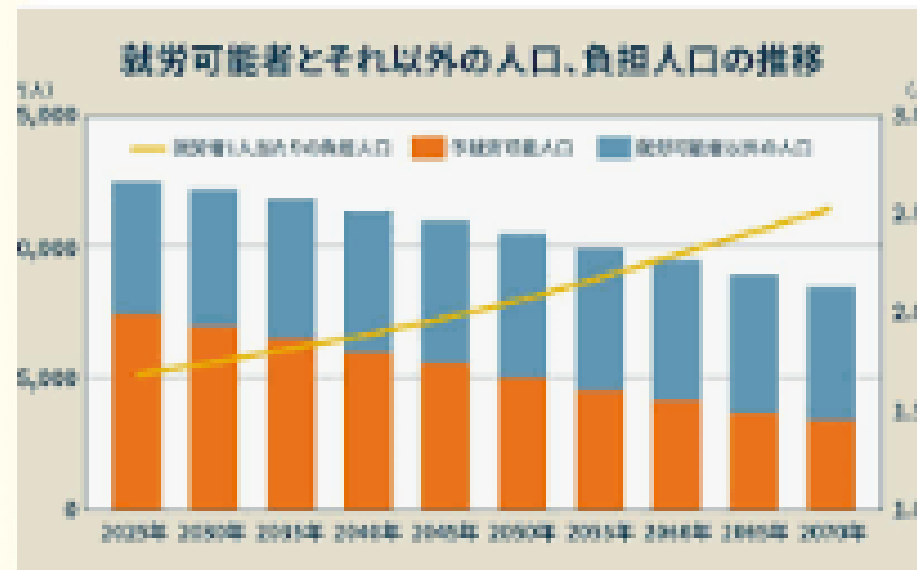
Copyright Haco, Inc. ※取得したいデータの種類が異なる場合、ドライバーの運用負荷が高くなるため、トレードオフを考慮してデバイスを選択する必要があります。

4) イズミの取組み

■月次KPI管理

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
①積載率	前年実績	68.1%	67.8%	69.3%	73.9%	76.3%	73.5%	74.4%	73.2%
	実績	73.3%	74.9%	74.0%	76.8%	76.2%	74.7%	75.7%	74.0%
	前年差	5.2%	7.1%	4.7%	2.9%	-0.1%	1.2%	1.4%	0.8%
②実車率	前年実績	57.4%	55.8%	55.2%	55.5%	55.9%	56.3%	55.6%	55.7%
	実績	57.4%	56.3%	55.6%	56.3%	55.6%	56.1%	55.6%	55.6%
	前年差	0.0%	0.5%	0.4%	0.8%	-0.3%	-0.2%	0.0%	-0.2%
③車両距離	前年実績	1,632,540	1,495,327	1,435,155	1,454,372	1,521,669	1,324,490	1,480,047	1,421,163
	実績	1,631,322	1,459,414	1,414,620	1,480,313	1,508,047	1,334,145	1,478,380	1,435,568
	前年差	-1,218	-35,913	-20,535	25,941	-13,622	9,655	-1,667	14,405
④事故/遅延	前年実績	0	0	2	0	4	11	4	5
	実績	0	1	2	2	2	1	1	1
	前年差	0	1	0	2	-2	-10	-3	-4
⑤誤配/破損	前年実績	1	2	5	2	6	3	2	7
	実績	4	2	1	5	2	2	2	0
	前年差	3	0	-4	3	-4	-1	0	-7
⑥荷待ち/荷役時間	目標値	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
	実績	2.1%	2.0%	2.1%	2.1%	2.3%	2.0%	2.0%	1.8%
	目標差	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	-0.2%
⑦ドライバー残業時間	目標値	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	76	55	54	53	47	57	33	18
	目標差	76	55	54	53	47	57	33	18

物流は共闘



以上、ありがとうございました。